

「世田谷こども守る会」1周年記念イベント  
「給食について、考えてみよう！」  
2012.6.30

講義スピーチをそのまま文字に書き起こしました。一部、文字に起こせない聞き取り不明瞭な部分もありますことをご了承ください。

【第一部】「世田谷区の取り組み 行政と保護者がどう連携していったのか」  
～世田谷区教育委員会 学校健康推進課 秋元勝一課長～

給食ということで、私のほうから簡単に区の取り組みをお話させていただいて、その後に、皆さんの方から要望や意見を聞いてみたいと思う。

今、公式な質問などのお問い合わせは千数百件になる。

最初はプールの心配があった。プールの検査はした。5校についてやった。皆さんに要望があってからの対応だったので実際にはプール開きがあってからの対応となってしまった。これからも5～10校と検査は予定している。これからも先へ先へとすすめていきたいと思う。

行政と保護者がどう連携していったのか。というテーマについて。当初の連携は無理があった。皆さんも役所なりに不安を電話でしたかと思うが、どこに問い合わせても国が基準内だから大丈夫ということで不安がぬぐえなかったと思う。すべての数値、規制をしている（放射能だけでなく）食品安全委員会が出している数値だから、大丈夫だろうという言い方しかできなかった。だから、皆さんの不安は解消されなかった。

まず、産地公開をしてもらえないだろうか。今までもロット番号、産地はひかえている。暫定基準値超えがでた牛肉に関しては、ロット番号を確認した。牛肉については意識していた訳ではなく偶然にだが、使用をしていなかった。食べさせてしまったところは記者会見でお詫びをしていたが、西の方からも規制を超える牛が出たこともあり、こういうことが起こると、今は、牛肉は世田谷では使っていないがそろそろ解除していこうかな、と。東京では全頭検査をしているが東北のほうではわからないので、データを注意深く見ながら進めていく。干しシイタケも産地が確認できないものは使用していない。

産地公開については、各学校で掲示板として実施した。学校の方に労力をかけないために、掲示としたが、HPに公開してくれという要望が強く、やるようにしてきた。若干、まだできていない学校もあるが、支援をしながら、できるだけ速やかにすすめていきたい。

2台計測器を購入した。この4月から食品の検査をしている。お手元にHPで、出している、放射性物質検査結果書

当初、こども守る会の意見をもらって、食材と産地を入れてほしいという話もあったので、今の形にいたる。

「世田谷こども守る会」1周年記念イベント  
「給食について、考えてみよう！」  
2012.6.30

これを見て、不思議だなと思う人いるか？これずっと見て、おかしいのは、お米の産地を載せているところが1校しかない。お米の量が一番多いので、きちんと載せるように努力している。

検査の機械は、最初保健所の方から国が検査している貸出機を買おうとしていたが、その機械で安心できるのかとこども守る会から意見をもらい、教育委員会、保健所とともに、10社以上の提案をもらい2ベクレル、3ベクレルの限界値のものを購入した。

はじめ、こども守る会と連携ができない状態にあったが、機械を選ぶ、公表していく、検査をしていく、などとすすめる中でじょじょに連携がしていくようになった。

検査するという点では、学校給食では、添加物や遺伝子組み換えなどについては、かつてからやっていた。年間320回くらい、学校のおかずをぬいて検査している。細菌、農薬などの検査をやっている。

そういう経緯が、急に放射性物質をやっても、他の部署よりも抵抗なくできたのだと思う。役所は前例がないことを行うのは、スムーズにいかないものだが、教育委員会は検査体制があったので、連携がすすめやすかったのだと思う。

我々もこども守る会の皆様も保護者の方も、向いている方向は同じ。子供のため、子供の健康のため。世田谷モデルあったらいいねと、こども守る会が言っていた。学校、園、区、教育委員会、保護者があって、の世田谷モデルがあるといいねという話をしているが、ここからスタートをきったので、ますます進められたらいいなと思う。今後もみなさんと協力していけたらいいなと思う。

これで時間なので、終わるが、ご意見、ご質問をお願いします。

###